

# 平成30年度 徳島県立名西高等学校経営計画

## 1 学校教育目標

- 1 本校の歴史と伝統を重んじ、知・徳・体の調和がとれた、誠実で民主的・創造的な実践力のある心身ともにたくましい人間を育成する。
- 2 生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすとともに、個人の尊厳と基本的人権を尊重し、民主社会の実現に貢献できる人間を育成する。
- 3 我が国の文化と伝統を尊重するとともに、平和な国際社会づくりに貢献できる人材を育成する。

## 2 学校経営計画中期的目標

- 1 真に自分を大切にする教育の徹底により、正しい人権感覚を身につけるとともに、自己実現への意欲や態度を養う。
- 2 芸術科の充実及び国際理解教育の推進を図り、文化の創造と社会の発展に貢献できる人材を育成する。

## 3 本年度重点目標

- ① 基本的な生活習慣の確立を図る生徒指導の充実
- ② 自他を大切にする心や態度を育成
- ③ 社会的自立のために必要な能力や態度の育成
- ④ 基礎的・基本的な学力の育成
- ⑤ 活気ある部活動と学校をリードする生徒の育成
- ⑥ 地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進
- ⑦ 文化芸術活動における地域への積極的な創造発信
- ⑧ 防災・安全教育の徹底と環境教育の推進

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
基本的 生活習慣の 確立を図る 生徒指導の 充実	①基本的生活週間の確立を図る生徒指導の充実	生徒指導課 各学年	評価指標	評価指標の達成度	(評定)		
			① 遅刻者数を20%減少させる。(H29, 785人)	①			
			② スマホマナーアップ運動を充実させ、スマホが原因による特別指導を0にする。(H29, 1件)	②			
		③ 交通事故防止と交通マナー向上の指導を徹底させ、登下校における交通事故を2件以内にする。(H29, 2件)	③				
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)			
		① 「遅刻ゼロの日」や「考査時の5分前登校」の取組を充実させる。また、遅刻カードで遅刻数や理由を確認し、個別に指導する。声かけ指導も毎朝実施する。	①				
② クリアファイルの配布やポスター掲示など啓発に努める。また、生徒会やPTAと連携を図る。	②						
③ 登校時の立哨指導(毎日)、街頭指導(月1回)、交通安全街頭キャンペーン(年2回)、車体検査と通学別集会(年3回)、交通委員会による挨拶運動(月1回)を実施する。	③						

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
自他を大切に する心や態度を 育成	②自他を大切に する心や態度を 育成	人権教育課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価  (評定)		
			① いじめ問題や人権に関する課題について教職員間で共通認識を持つ。	①			
			② 生徒による人権意識を高める活動を推進する。	②			
		③ 3年生対象の「人権に関する意識調査」において、人権課題に取り組む意欲を示す回答を9割以上にする。(H29年:92%, H28年:89%)	③				
		活動計画	活動計画の実施状況				
		① 学年検討会や人権教育研修会を開催したり、校外の研修会に参加して職員会議等の機会にその報告を行ったりする。	①				
	人権教育課	② 生徒会の人権委員会による人権に関する取り組みを行う。	②				
		③ 人権や人格を尊重し、いじめや差別を許さない生徒の意識や態度を育てる人権HR活動や人権映画鑑賞会等を行う。	③				
		評価指標	評価指標の達成度	総合評価			
	生徒指導課 教育相談	④ 学校いじめ防止方針に基づき未然防止に努め、いじめによる特別指導を0にする。(H29, 0件)	④	(評定)			
		⑤ 生徒理解に努め、必要に応じた職員研修やケース会議が実施する。	⑤	(所見)			
	生徒指導課 教育相談	活動計画	活動計画の実施状況				
④ アンケートを年2回実施し、早期発見に努める。また、いじめは絶対に許さないという姿勢を全校集会等で明確にし、生徒が相談しやすい環境をつくる。		④					
		⑤ 特別支援教育の視点で、生徒実態調査を、年1回行い、その結果を教職員研修会で情報共有する。支援が必要な生徒については、年間2回以上ケース会を行う。	⑤				

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価			
自他を大切に する心を育成	②自他を大切に する心を育成	保健厚生課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
			⑥ 生徒の心身の健康問題について、担任・保護者や必要に応じて専門の相談機関等と連携し健康相談活動を行う。(H29, 11件)	⑥			
		⑦ 毎学期1回以上学校医による健康相談を実施し、生徒の健康の保持増進に努める。(H29, 2回実施)	⑦	(所見)			
		活動計画	活動計画の実施状況				
保健厚生課	⑥ 保健室の機能を生かしながら担任、保護者と連携を図る。必要な場合はサポートセンター等専門の相談機関につなげる。	⑥					
	⑦ 希望者または必要とする生徒に対して学校医による健康相談を実施する。	⑦					
自他を大切に する心を育成	②自他を大切に する心を育成	保健厚生課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
			⑧ 内科検診、結核検診、心電図検査の全員受診、二次検査対象者の全員受診を完了する。(H29 二次検査, 内科1人未受診 結核, 心電図全員完了)	⑧			
		⑨ ほけんだよりを毎月発行する。(H29, 毎月発行) 健康や性に関する講演会を年1回以上実施する。(H29, 1回実施)		(所見)			
		活動計画	活動計画の実施状況				
保健厚生課	⑧ 健康診断の結果、未受診者や二次検査が必要な生徒に対して受診指示を周知徹底する。	⑧					
	⑨ ほけんだよりを通して健康への関心を高める。定期的に健康や性に関する講演会を実施する。	⑨					

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
	②自他を大切に する心や態度を育成	特別活動課	⑩ 「あいさつ運動」を毎週2回以上実施する。	⑩	(評定)	
		特別活動課	⑩ 生徒会役員が中心となり、登校時に「あいさつ運動」を実施する。	⑩	(所見)	

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
社会的自立のために必要な能力や態度の育成	③社会的自立のために必要な能力や態度の育成	総合学習科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
			① 進路意識を高める行事や講演会等に主体的に参加する生徒の割合を80%以上とすることを達成する。(H29:72.0%)	①			
		② 各学年での小論文に関する取り組みに対して、アンケートによる生徒の満足度を83%以上とすることを目指す。(H29:81.6%)	②	(所見)			
		活動計画	活動計画の実施状況				
		① 総合的な学習の時間の計画において、生徒の実態に応じて進路意識を高める行事や講演会等の内容の改善を図り、生徒が主体的に参加することができるようにする。	①				
		② 小論文に関する取り組みを、全学年の年間計画に位置づける。各ホームルームでの事前指導を経て、小論文模試を実施し、事後指導の後、アンケートで生徒の満足度を確認する。1・3年生では、事前指導の中で講演会も実施する。	②				
	進路指導課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価			
		③ 生徒に進路情報を随時提供することができたか。	③	(評定)			
	④ 最終進路先に満足する生徒の割合が90%以上、本校の進路指導に満足する生徒の割合が90%以上であったか。(H28:95%,90%)	④	(所見)				
	進路指導課	活動計画	活動計画の実施状況				
		③ 生徒に進路情報を随時提供する。(「木鐸」年1回、職場体験やオープンキャンパス等各種案内随時)	③				
	④ 生徒の進路相談に随時応じ、丁寧な進路指導を行う。	④					
3学年共通	評価指標	評価指標の達成度	総合評価				
	⑤ 生徒と担任、学年団との面談を実施し、個別指導ができたか。	⑤	(評定)				
⑥ 進路に関する講演会や学年集会を通して学力向上への意欲や、望ましい職業観の確立を図ることができたか。	⑥	(所見)					
3学年共通	活動計画	活動計画の実施状況					
	⑤ 全生徒と各学期に1回以上進路や学習、生活面についての面談をする。	⑤					
⑥ 講演会や学年集会を各学年3回以上開催する。(H29:1年生5回,2年生5回,3年生6回)	⑥						

		自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見		
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	教務課 進路指導課	① 定期考査期間中の平均家庭学習時間2時間以上の者が30%以上、かつゼロ時間の者がゼロである。 (H29:2時間以上の者の割合は39%、ゼロ時間の者の割合は1%)	①	(評定)		
			② 成績不振数の割合を、前年度1・2学期と比較して、減少させる。(H29:1学期は前年比較で増加。2学期は前年比較で半減。)	②			(所見)
			③ 成績不振者に対して、休業中に基礎学力補充講座を行う。出席率を100%にする。(H29:出席率は96%)	③			
		教務課	④ 授業時数確保に努め、出張・年休の授業振り替え率を90%以上にする。(H29:1・2学期で96%)	④			
		進路指導課	⑤ 基礎基本の徹底を目標とした「ステップアップトレーニング」(ST)の実施回数を可能な限り確保する。(H29:1年生:国(18),英(17),数(15) 2年生:国(17),英(18),数(15))	⑤			
			⑥ 家庭学習時間を確保させるために、各教科でSTの実施曜日にあわせた家庭での課題を計画的に実施する。	⑥			
			教務課 進路指導課	活動計画	活動計画の実施状況		
				① 学習時間調査を実施し、生徒に対する意識づけを行い家庭学習時間ゼロをなくす。	①		
				② 欠点を取らないよう、授業やホームルーム、集会等で学習意欲を喚起させ、授業態度や提出物等の指導をより徹底する。	②		
				③ 長期休業中に基礎学力補充講座を実施し、復習課題を課し、学力補充に努めさせる。課題不備等のないように指導する。	③		
				教務課	④ 行事などの精選を図るとともに、自習を減らし、授業振り替えをする。	④	
				進路指導課	⑤ 年間行事計画に位置づけ、英語、国語、数学のSTを毎週水木金の朝に実施する。	⑤	
⑥ 1, 2年生におけるSTの課題、全学年における各教科の授業の課題を計画的、継続的に実施する。	⑥						

		自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	国語科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
			⑦ 漢字・語彙テストや古文単語テストの平均得点率7割以上の者を85%以上にする。(H29:82%)	⑦		
			⑧ 授業評価アンケートの「教科に関する興味・関心」「充実度」がある生徒の割合95%以上を目指す。(H29:92%)	⑧		
			⑨ 授業評価アンケートの「宿題をしている」生徒の割合を87%以上にする。(H29:85%)	⑨		
			活動計画	活動計画の実施状況		
			⑦ 漢字テキストを家庭学習させて週に1回確認テストを実施する。2,3年生は古文単語テストも実施し、合格しなかった者には繰り返し取り組ませる。	⑦		
		国語科	⑧ 協働学習や発表により達成感や充実感を味わわせる。便覧・資料等を活用してより深く興味・関心を呼び起こし、積極的な授業参加ができるよう配慮していく。	⑧		
			⑨ 授業の内容にあったプリントや週末課題を配付し、家庭学習の習慣を身につけさせる。プリントや週末課題はファイルし、提出させて評価する。	⑨		
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
			⑩ 授業評価の「興味・関心」「充実度」で、8割以上の生徒が満足することで、基礎的・基本的な学力の育成をはかる。(H29:85%)	⑩		
			⑪ 基礎的・基本的な学力を身につけさせるために、定期的にノート、プリント等を提出させる。提出率を100%にする。	⑪		
			活動計画	活動計画の実施状況		
地歴・公民科	⑩ 毎時間一つは時事問題を取り入れ、授業内容と絡めて説明することにより、授業が世の中の出来事・動きと関連していることに気づかせ、興味・関心を持たせる。	⑩				
	⑪ 基礎基本の定着をはかるため、定期テストごとにノートを提出させ、未提出の者には提出を促す。ノートを効率よくとれるよう板書計画を吟味する。	⑪				



重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価指標の達成度	総合評価		
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	数学科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)		
			⑫ 1, 2年生のSTにおける正答率を70%以上にする。(H29の平均正答率(得点率):1年生71%,2年生56%)	⑫			
			⑬ 授業評価アンケートで数学の授業に興味・関心を持った生徒の割合を80%以上にする。(H29:1年生84%,2年生75%)	⑬			
		数学科	活動計画	活動計画の実施状況			
			⑫ STの課題を週末に配布し、家庭で学習してから金曜日の朝のテストを受ける流れを確立させる。	⑫			
			⑬ 毎時の目標を明確に示すとともに発問を多くしたり、協働学習を取り入れるなど、全員が授業に積極的に取り組んでいる態勢をつくる。	⑬			
	理科	理科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)		
			⑭ ノート、プリント、課題、テスト直し等の提出・確認を細かく行い、その提出率を95%以上にする。	⑭			
			⑮ 社会で取り上げられる理科関連のニュースを授業で取り上げることで、学習内容が現実社会と密接に関連していることを理解させ、学習意欲の向上に繋げる。	⑮			
		理科	活動計画	活動計画の実施状況			
			⑭ 一般用語、一般常識の理解定着を目指すためのきめ細かい指導と解説を行う。必要であれば小テストを行い定着率を確認する。 ノートを効率よくとれるよう板書計画を吟味する。板書計画を行い、わかりにくくならないよう工夫する。また、検印するなど後から確認できるようにする。	⑭			
			⑮ ニュース・新聞等の記事から授業内容に即する内容でプリント等を作成する。記事中の単語、内容の解説を行い、基礎的な科学的知識の習得に努める。月2回程度の取り組みを目指す。	⑮			
⑯ 生徒が試験勉強に取り組みやすいよう、出題範囲と出題傾向を適切に伝え、効率良い勉強方法を伝授するとともに、学習努力が得点に繋がる出題を心掛ける。	⑯						

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策		
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価指標の達成度	学校関係者の意見		
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	英語科	評価指標		総合評価		
			⑰ 1年生のSTの平均得点率6割以上の者を45%以上にする。(H29:44%)	⑰			
			⑱ 2年生の各学期末で80点以上(評定5)の生徒を40人以上にする。	⑱			
					⑲ 3年生の1, 2学期末で80点以上(評定5)の生徒を40人以上にする。(H29: 1学期42名, 2学期40名)	⑲	
		英語科	活動計画		活動計画の実施状況		
			⑰	・「English for Tomorrow」(中学校復習教材)を週末課題とし, 計画的に取り組ませる。また, 自主学習を促す。 ・STにより基礎・基本の定着をはかる。 ・結果を集計・追跡し, 評価の一部に加味するとともに個人の指導に生かす。	⑰		
⑱	・授業でポイントをよく理解させる。 ・単語テストを実施し, 語彙力をつける。 ・テスト対策プリントで, 考査前にポイントを復習させる。		⑱				
			⑲	・授業でポイントをよく理解させる。 ・繰り返し暗唱・復習することを奨励する。 ・小テストの結果を集計・追跡し, 評価の一部に加味するとともに個人の指導に生かす。	⑲		

自 己 評 価					学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見	今後の改善方策
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	図書課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
			⑳ 全校読書会や読み聞かせの会の参加者を昨年度より増やす。(H29：参加者25名)	㉔		
			㉑ 家庭での平均読書時間10分以上の者を50%以上にする。(H29：47%)	㉕		
			㉒ 図書館の利用者人数を昨年度より増やす。(H29：1日平均利用者数23.3人)	㉖		
		図書課 国語科	㉓ 図書館の本の貸出を昨年度より増やす。(H29：1日平均貸出数6.9冊)	㉗		
			㉔ 読書感想文や各種コンクールの出品数や入賞者を昨年度より増やす。(H29：各種コンクール入賞者8名，学校賞1)	㉘		
		図書課	活動計画	活動計画の実施状況		
			⑳ 全校読書会や読み聞かせの会の実施案内を周知して，積極的な参加を促す。参加した生徒が次回も参加したいと思えるような企画にする。	㉔		
			㉑ 「朝の読書」の取り組みを十分に生かし，家庭での読書時間を増やしていく。学級文庫の活用や図書館の本をテーマ別に紹介して，読書へ誘う。	㉕		
			㉒ 授業での図書館利用を増やしたり，作家やジャンル別の企画展を実施して来館者を増やしていく。	㉖		
図書課 国語科	㉓ 教科・科目と関連した本を案内したり，推薦本を紹介したりして興味・関心を持たせ，貸出冊数の増加につなげていく。	㉗				
	㉔ 各種コンクールの案内を周知し，授業や部活動で作品を創作する時間を取るようにする。	㉘				

							次年度への課題と今後の改善方策
活気ある部活動と学校をリードする生徒の育成	⑤活気ある部活動と学校をリードする生徒の育成	特別活動課	<p>評価指標</p> <p>① 自主的にボランティア活動を行った生徒が、全校生徒の60%以上だったか。(H29.55%)</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p>		
		特別活動課	<p>活動計画</p> <p>① 全校生に趣旨の徹底をはかるとともに自発的なとりくみを推進する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①</p>	<p>(所見)</p>		
		芸術科	<p>評価指標</p> <p>② 美術や書道作品の校内展示を通して、生徒の豊かな感性の伸長を図り、情操教育を展開する。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>②</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p>		
		芸術科	<p>活動計画</p> <p>② 県内唯一の芸術科を持つ学校としてその有利性を発揮し、美術・書道の常設展示を行い、それぞれ学期に1回以上展示替えを行う。(H29 美術・書道併せて8回)</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>②</p>	<p>(所見)</p>		
	特別活動課	特別活動課	<p>評価指標</p> <p>③ 全国大会に6名以上、四国大会に20名以上の出場を目標とする。(H29.全国6名、四国19名)</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>③</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p>		
		特別活動課	<p>④ 高文祭では全国大会に3部以上、各種大会・コンクールについては全国規模の入賞・入選数65を目標とする。(H29.高文祭3部門、入選61)</p>	<p>④</p>			
		特別活動課	特別活動課	<p>活動計画</p> <p>③ 体育部の活動者数を増やし、大会参加や活動の機会を増し、粘り強く指導する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>③</p>		<p>(所見)</p>
			特別活動課	<p>④ 文化部の活動者数を増やし、大会参加や活動の機会を増し、粘り強く指導する。</p>	<p>④</p>		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
活気ある部活動と学校をリードする生徒の育成	⑤活気ある部活動と学校をリードする生徒の育成	国際課 英語科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
			⑤ 外国の文化・慣習等に興味・関心を持ち、国際交流への意識を高めた生徒の割合を65%以上にする。(H29:63.2%)	⑤			
			⑥ 生徒の国際理解を深めるために、全校生徒対象の講演会を1回以上開催する。(H29:1回)	⑥			
		⑦ 海外留学やホームステイ、国内での英語を使った交流体験など、国際交流事業への参加者を10名以上にする。(H29:14名)	⑦				
		国際課 英語科	活動計画の実施状況	⑤			
			⑤ A L T の授業を全クラス最低2週間に1回は行う。	⑥			
⑥ 外国の方や海外経験の豊富な日本人を招き講演会を実施する。	⑦						
	⑦ 国際交流の募集案内を全校生徒に積極的に行うとともに、生徒の進路に応じて個別に参加を働きかける。	⑦					

重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画		評 価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価			
地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	総務課	① 保護者と生徒、教職員が協力して校外清掃奉仕活動や、校内美化活動を行う。	①	(評定)  (所見)			
			② 文化祭・体育祭に、P T A役員を中心として多くの保護者が参加し、教職員と連携して生徒の諸活動を支える。	②				
			③ 校外における各種研修、大学訪問研修に多くの保護者が参加し、諸問題について理解を深める。	③				
			④ 全会員にP T Aの活動についての報告・広報を年間5回以上する。	④				
			⑤ 藤花同窓会と学校が連携して充実した同窓会活動を実施する。藤花同窓会の活動について、在校生や地域に周知・広報し、総会・懇親会に多くの会員が参加する。(H 2 9年度総会2 4名・懇親会8 8名参加)	⑤				
		総務課	活動計画	活動計画の実施状況				
			① 石井駅周辺の通学路、および校内での美化活動に、参加を呼びかける。(H 2 9年度参加者5名)	①				
			② 文化祭での模擬店出店、体育祭での麦茶・スポーツドリンク提供について、全保護者に参加を呼びかける。(H 2 9年度模擬店・麦茶提供延べ5 5名参加)	②				
			③ 県高P連、生指協連絡協議会等の総会・研修会等への参加について適宜ご案内する。また、大学訪問を実施し、進路について理解を深める。(H 2 9年度校外研修3 0名参加、大学訪問1 5名参加)	③				
			④ 5月の総会で事業報告・事業計画を提案する。「P T A通信」を発行し、年間の活動について全会員に報告をする。H Pに行事への参加案内や報告を掲載する。	④				
⑤ 1 0月の藤花同窓会総会・懇親会では役員および卒業3 0周年の会員を中心に参加を広く呼びかける。諸活動の円滑な実施のため、役員会を年3回開催する。同窓会キャラクターの「くおんちゃん」クリアファイルを制作し、広く配布して同窓会のシンボルとして周知を図る。卒業式前日に同窓会入会式を実施し、各クラス理事に委嘱状を手渡し、同窓会会員となる自覚を促す。	⑤							

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	教務課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
			⑥ 「入学案内」について、本校教育の内容をわかりやすくまとめ上げ、説明会等の資料に積極的に活用する。	⑥			
		⑦ 体験入学の参加生徒や保護者に、本校の教育内容や特色をわかりやすく説明する。H29体験入学アンケート結果（よい以上-生徒91%、教員・保護者81%）を上昇させる。	⑦	(所見)			
		教務課	活動計画	活動計画の実施状況	総合評価 (評定)		
			⑥ 「入学案内」の構成や情報内容を改良するとともに、常に最新の情報に更新していく。また、依頼の中学校には配布する。	⑥			
		⑦ 体験入学、学校説明会、HP等を通じて、本校教育の特色など本校に関する情報を提供し、中学生に進路選択に活用してもらおう。体験入学の際にアンケートを実施する。	⑦				
	情報視聴覚課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)			
		⑧ 学校行事や部活動等の様々な取組みをホームページで頻度多く掲載する。月に12回以上の更新を行う。（昨年度最少月更新回数10回）	⑧		(所見)		
	情報視聴覚課	活動計画	活動計画の実施状況	総合評価 (評定)			
		⑧ 各課に更新作業の出来る教員を増やし、学校行事や部活動の取り組み等を紹介する。	⑧		(所見)		
	芸術科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)			
		⑨ 校外での展覧会・音楽会等の広報活動（ホームページ・ポスター・新聞）を迅速に行い、在校生や多くの観客を動員する。	⑨		(所見)		
⑩ 県内唯一の芸術科を有する学校として、地域社会と連携し生徒の技術力をいかした芸術・文化の発信に寄与す	⑩						
芸術科	活動計画	活動計画の実施状況	総合評価 (評定)				
	⑨ 地域社会での文化祭、展覧会、文化行事などに年間6回以上参加する。	⑨		(所見)			
⑩ 地域社会と連携し、校内・校外で展覧会・演奏会を年間5回以上、小・中学生に向けた体験学習を年間6回以上実施する。芸術科部活動見学会を実施する	⑩						

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	生徒指導課	⑪ 「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して地域の安全のため、パトロールや挨拶運動、美化活動を年30回以上実施する。(H29, 32回)	⑪	(評定)	
		生徒指導課 家庭科	⑫ 交通安全キャンペーンを年2回以上実施し、交通マナーの向上と地域の交通安全に貢献する。	⑫		
		生徒指導課	⑪ 運動部員を中心とした「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して、清掃活動や防犯キャンペーン、挨拶運動を適宜実施する。	⑫		
		生徒指導課 家庭科	⑫ 石井署と連携を図り、交通委員会がキャンペーンを実施する。また秋の交通安全キャンペーンでは学校家庭クラブが製作した「無事カエル」のマスコットを配布する。	⑫		



		自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
文化芸術活動における地域への積極的な創造発信	⑦文化芸術活動における地域への積極的な創造発信	情報視聴覚課	評価指標 ① 各行事の結果等については、実施日から3日以内の更新を心掛ける。生徒の活動の様子等の紹介を月3回程度を目標に更新する。(平成29年度最少月更新数3回)	評価指標の達成度 ①	総合評価  (評定)	
		情報視聴覚課	活動計画 ① 行事の記録を確実にし、タイムラグなく地域に発信を行う。そのために情報発信に関する研修を行う。	①		
		芸術科	評価指標 ② リーディングハイスクールの取り組みを通して、音楽・美術・書道の技術力を活かした活動を積極的に校外・地域へ発信する。(H29 10回) 異校種間交流を音楽・美術・書道で年1回以上実施	評価指標の達成度 ②	総合評価  (評定)	
			③ 芸術科の各行事や取り組みを、ホームページやさまざまな機会を通じて効果的に案内・広報を行う。(H29 芸術科36回HP更新)	③		
		芸術科	活動計画 ② 校内での演奏や作品展示をはじめ、校外での演奏会や作品展を行い生徒の持つ芸術力をアピールする。異校種間での作品交流等を実施し芸術科の持つ魅力を発信する。	評価指標の達成度 ②	総合評価  (評定)	
			③ 芸術科の各行事や取り組みを、音楽・美術・書道それぞれが迅速にホームページに更新し、積極的に地域に案内・広報を行う。	③		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価	総合評価		
防災・安全教育の徹底と環境教育の推進	⑧防災・安全教育の徹底と環境教育の推進	環境教育課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)		
			① 避難訓練を年2回実施する。	①			
			② 外部機関と連携した防災教育を実施する。	②			
			③ 防災クラブの活動を十分に行う。	③			
			活動計画	活動計画の実施状況			
			① 緊急時に適切な行動がとれるようにするため、地震・火災を想定した避難訓練を実施する。	①			
	② 安全確保に対する意識を高めるため、防災教育を充実させる。	②					
	③ 防災クラブの活動として、1・2学期末に防災活動を積極的に行う。	③					
	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)				
	④ ゴミの分別をすることがECOにつながることを自覚させる。	④					
	⑤ 環境を整え学習効果をあげるとともに、美化を推進する。	⑤					
	⑥ 地域の美化に貢献する気持ちを育て、奉仕の精神を養う。	⑥					
活動計画	活動計画の実施状況						
④ ゴミ分別チェック表を毎月1回提出する。	④						
⑤ 月に1回大掃除を実施する。	⑤						
⑥ 1, 2学期末に校外奉仕活動を積極的に行う。	⑥						